

○資金収支決算の状況

(1) 収入の主な概要

収入面では、地域連携による紹介患者の確保などにより、新入院患者数を増加させるとともに、病棟、診療科間の調整を行うなど効率的な病床運用に努め、病床利用率を向上させました。また、手術件数の増加や、急性期・総合医療センターの小児入院医療管理料の上位基準取得、呼吸器・アレルギー医療センターの緩和ケア病棟の開設に伴う入院料の算定など診療・看護体制の充実による診療単価の向上に取り組みました。その結果、医業収益は前年度と比較して 27.3 億円上回る 560.8 億円となり、運営費負担金等を含む、営業収益については、前年度比 19.4 億円増の 668.5 億円となりました。

(2) 支出の主な概要

支出面では、診療機能の充実・強化に伴う医師の増員、新規の医療機器リースなどによる経費の増加、収益の伸びに伴う材料費の増加などにより、医業費用は 621.0 億円となりましたが、医業収益が前年度と比較して 5.1%増加する中で、25.5 億円（対前年度 4.3%増）の増加にとどまりました。また、営業費用については、前年度比 26.3 億円増の 629.8 億円となりました。

(3) 資金収支差

平成 23 年度の資金収支差は、運営費負担金が削減される中で、前年度から 14.8 億円の減少となりましたが、18.5 億円の黒字を確保することができました。

【資金収支】

(単位：億円)

区 分	H23 決算	H22 決算	増 減
収入	737.1	706.5	30.5
営業収益	668.5	649.1	19.4
うち医業収益	560.8	533.5	27.3
うち運営費負担金※	104.9	112.8	▲7.9
営業外収益	8.7	8.4	0.3
資本収入	59.9	49.0	10.9
支出	718.5	673.2	45.3
営業費用	629.8	603.5	26.3
うち医業費用	621.0	595.5	25.5
うち給与費	337.3	323.3	14.0
うち材料費	157.4	152.4	5.0
うち経費	121.2	114.8	6.4
営業外費用	4.9	5.3	▲0.5
資本支出	83.8	64.3	19.5
資金収支差	18.5	33.3	▲14.8

※営業収益の運営費負担金は高度医療等に要する経費に対する負担金であり、企業債等の元金利息償還に対する負担金は営業外収益及び資本収入に含む。

※端数はそれぞれ四捨五入を行っているため、「増減」や各科目の合計が一致しない場合がある。